

氏名	菊池 武久
学位の種類	医学博士
学位授与番号	乙 第 640号
学位授与の日付	昭和 49年 12月 31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	ステロイドホルモンの脂質代謝及び糖質代謝への影響に関する 研究
論文審査委員	教授大藤 真 教授水原舜爾 教授山崎英正

学位論文内容の要旨

第1編では当教室における昭和41年から昭和46年迄6年間のステロイド糖尿病の臨床統計的観察を行い、ステロイド投与例の7.8%の発生頻度を示した。疾患別頻度では再生不良性貧血29.3%が最高であった。IRIは一般にHyperresponseであるが項値の遅延を示し、又脂質面では高コレステロール血症となり、パルミチン酸増加、リノール酸低下を認めた。第2編では若年、老年ICR系雄性マウスを使用し副腎皮質ホルモンを5日投与群、10日間投与群について検討した。その際に1) $1-^{14}\text{C}-\text{Acetate } 10\mu\text{Ci}$ 腹腔内注射し、末梢血、肝脂質及び肝脂肪酸への ^{14}C 取り込み。2) $1-^{14}\text{C}-\text{Linoleate}$ 、 $1-^{14}\text{C}-\gamma-\text{Linolenate}$ の変換をみた。更に3) 蛋白同化ホルモンを併用して $1-^{14}\text{C}-\text{Acetate}$ よりの脂質合成を検討した。副腎皮質ホルモン負荷に依り、 $1-^{14}\text{C}-\text{Acetate}$ よりの肝総脂肪酸への取り込みでオレイン酸低下(モノ不飽化の抑制)、必須脂肪酸の著しい変換異常をみた。蛋白同化ホルモン併用にて $1-^{14}\text{C}-\text{Acetate}$ の肝主要脂質分画への ^{14}C 取り込み百分率は、中性脂肪低下、磷脂質増加を示した。

論文審査の結果の要旨

本研究は、ステロイドホルモンの脂質代謝及び糖質代謝への影響について臨床的ならびに実験的に研究したものであるが、従来十分確立されていなかったステロイドホルモンの脂質代謝を中心にしてこの方面に重要な知見をあげ得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。